

衛研第1-52号  
平成28年 3月23日

感染症発生動向調査事業  
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当  
電話 0493-59-9325  
FAX 0493-59-9613  
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

## 感染症患者発生情報（週報）

### 埼玉県内情報 平成28年第11週（平成28年3月14日～平成28年3月20日）

#### 今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類から二類感染症（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症1人の届出があった。四類感染症は、E型肝炎1人、A型肝炎1人、レジオネラ症2人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢2人、急性脳炎2人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人、侵襲性肺炎球菌感染症2人、梅毒3人、破傷風1人、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**インフルエンザ**（27.44→18.41）の定点当たり報告数は、前週より減少したが、依然報告数の多い状況にある。保健所別では、草加（25.82）、幸手（23.86）、加須（21.10）保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、全年齢階級から報告があり、10歳未満で全体の59.5%を占めている。**流行性耳下腺炎**（0.76→0.99）の定点当たり報告数は前週より増加し、前年までの同時期と比べ高い水準で推移している。保健所別では、春日部（1.17→3.17）、幸手（1.33→2.67）、坂戸（0.83→2.00）保健所管内で大きく増加した。年齢階級別では、4～7歳で全体の57.3%を占めている。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**（3.25→3.18）の定点当たり報告数は、前週より僅かに減少したが、多い状況が続いている。保健所別では、草加（3.00→5.27）保健所管内で大きく増加し、川口（5.53）、熊谷（4.44）、川越市（4.25）保健所管内で多い状況が続いている。**咽頭結膜熱**（0.23→0.28）の定点当たり報告数は、前週より微増し、保健所別では、朝霞（0.77）、川口（0.67）、坂戸（0.67）保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**急性出血性結膜炎**1人、**流行性角結膜炎**25人の報告の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**マイコプラズマ肺炎**4人、**インフルエンザ（入院）**6人の報告があった。

#### <全数把握対象疾患の患者情報>

<b>一類感染症</b>	報告なし	
<b>二類感染症</b>	報告なし（結核を除く）	
<b>三類感染症</b>	腸管出血性大腸菌感染症	1人（類型 患者、血清型 0157）
<b>四類感染症</b>	E型肝炎	1人（推定感染地域 国内）
	A型肝炎	1人（推定感染地域 国外）
	レジオネラ症	2人（病型 肺炎型 2人）
<b>五類感染症</b>	アメーバ赤痢	2人（病型 腸管アメーバ症 2人）
	急性脳炎	2人（病原体 インフルエンザウイルスA 1人、 インフルエンザウイルスB 1人）
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1人（血清群 G群）
	侵襲性肺炎球菌感染症	2人
	梅毒	3人（病型 早期顕症Ⅰ期 2人、早期顕症Ⅱ期 1人）
	破傷風	1人
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1人

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

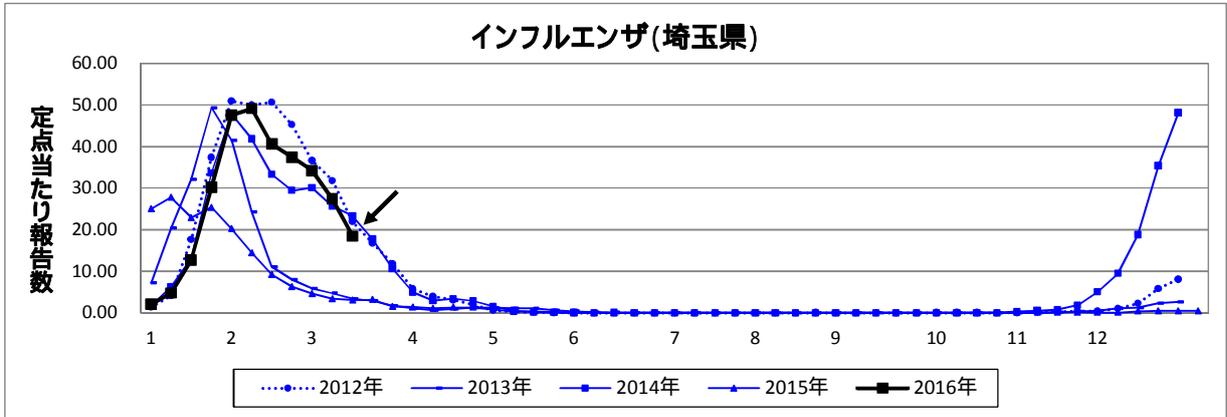
e-mail: [p5349952@pref.saitama.lg.jp](mailto:p5349952@pref.saitama.lg.jp) URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

# 注目すべき疾患

## - インフルエンザ 内科・小児科定点 -

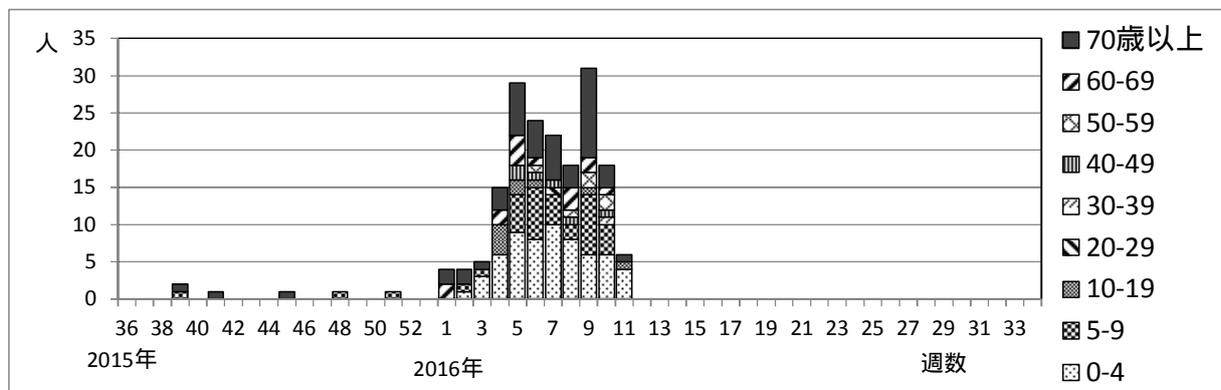
第 11 週 (3 月 14 日 ~ 20 日) のインフルエンザは、県全体で 4,602 人の報告があり、定点当たり報告数 (27.44 18.41) は前週より減少した。保健所別では、全保健所管内で前週を下回ったが、秩父保健所を除く 15 保健所管内で未だ定点当たり 10.00 を超えている。



## - インフルエンザ（入院）基幹定点 -

第11週は基幹定点（10医療機関）のうち3カ所から6人の報告があり、前週の6カ所、18人より大きく減少した。年齢階級別では、0-4歳4人、10-14歳及び70歳以上が各1人であった。

インフルエンザ（入院）の週別報告数



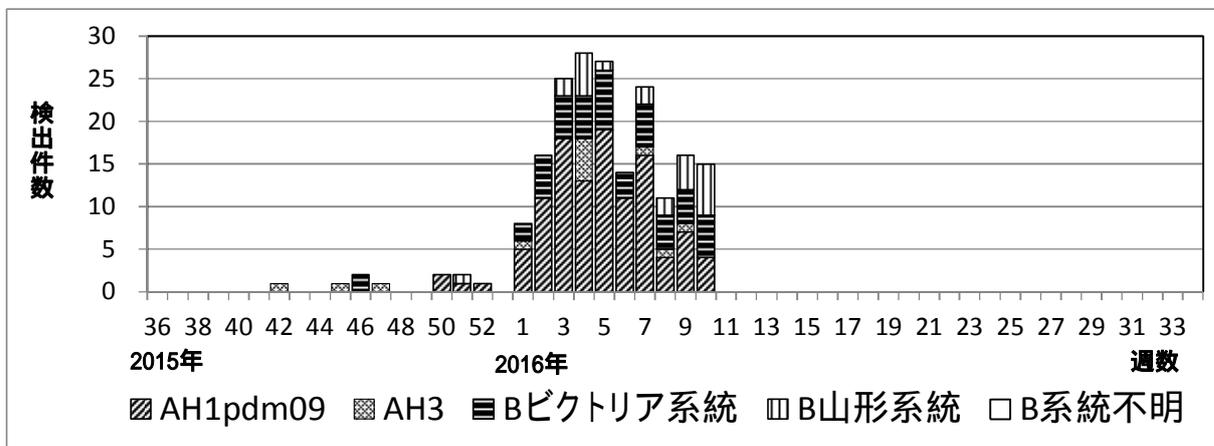
## インフルエンザウイルス検出状況

東松山(3人)、川口(2人)、熊谷(2人)、草加(2人)、さいたま市(2人)、越谷市(2人)、春日部(1人)保健所管内で採取された検体から、今週新たにAH1pdm09が4件、B型が10件検出された。9月(36週)以降の検出は、AH1pdm09が112件、A香港が12件、B型が70件の計194件となった。

年齢階級別インフルエンザウイルス検出状況

2015年36週から		年齢階級								計
		0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
AH1pdm09	今週検出分	3			1					4
	累積	69	6	1	11	10	5	6	4	112
AH3(A香港)	今週検出分									-
	累積	6	5	-	-	-	-	-	1	12
B型	今週検出分	6	2				1	1		10
	累積	35	19	4	4	3	1	1	3	70

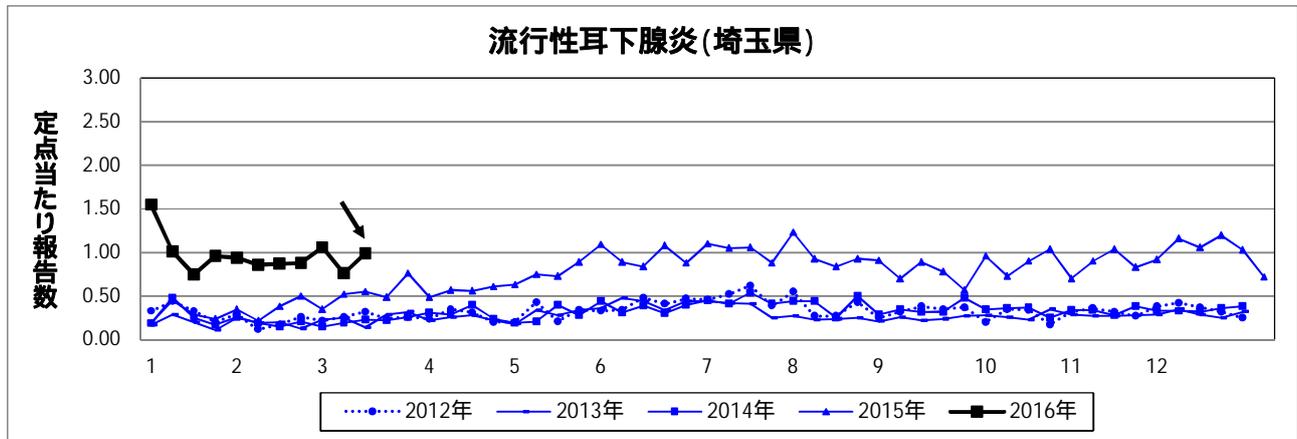
検体の採取週別インフルエンザウイルス検出状況



< 定点把握対象疾患の患者情報 >

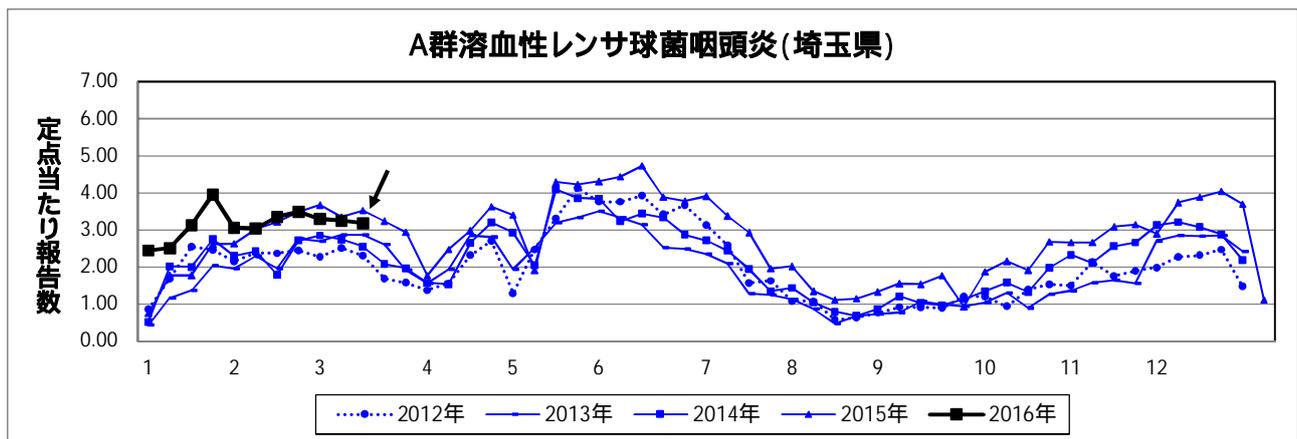
**流行性耳下腺炎**

秩父、本庄保健所を除く県内 14 保健所から報告があった。保健所別では、春日部(3.17)、幸手(2.67)、坂戸(2.00)保健所管内からの報告が多い。



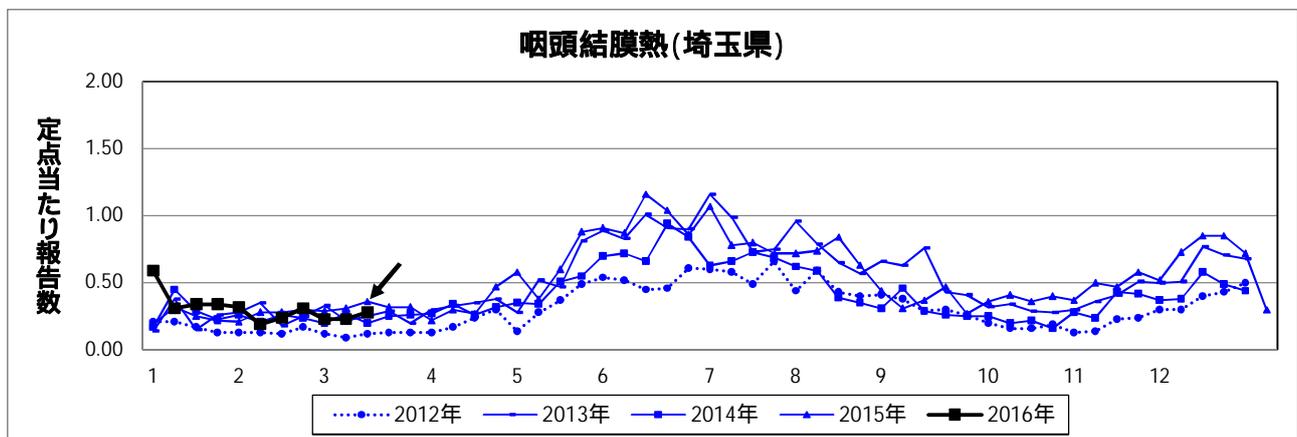
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

県内全保健所から報告があった。保健所別では、川口(5.53)、草加(5.27)、熊谷(4.44)、川越市(4.25)保健所管内からの報告が多い。



**咽頭結膜熱**

東松山、秩父、本庄、加須、川越市保健所を除く県内 11 保健所から報告があった。保健所別では、朝霞(0.77)、坂戸(0.67)、川口(0.67)保健所管内からの報告が多い。



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第11週)

(2016年3月22日 15:00集計)

	今週 届出	累計	2015年 累計		今週 届出	累計	2015年 累計
<b>一類感染症</b>							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
<b>二類感染症</b>							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1272	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
<b>三類感染症</b>							
コレラ				腸チフス		1	1
細菌性赤痢		2	6	パラチフス			1
腸管出血性大腸菌感染症	1	5	167				
<b>四類感染症</b>							
E型肝炎	1	8	7	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1を除く)			
A型肝炎	1	1	16	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病			1	ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサナル森林病				ブルセラ症			
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			1
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱			1	レジオネラ症	2	14	90
つつが虫病				レプトスピラ症			
デング熱		3	13	ロッキー山紅斑熱			
<b>五類感染症</b>							
アメーバ赤痢	2	11	30	侵襲性肺炎球菌感染症	2	27	84
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		1	6	水痘*	2	10	
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		7	40	先天性風しん症候群			
急性脳炎	2	18	28	梅毒	3	26	103
クリプトスポリジウム症				播種性クリプトコックス症	2	7	
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	10	破傷風	1	1	2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	8	12	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
後天性免疫不全症候群		8	35	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	3	9
ジアルジア症			4	風しん			8
侵襲性インフルエンザ菌感染症			14	麻しん		1	2
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症	2	1	
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘\* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計		1		

累計は診断日で集計  
\* 2015年累計は暫定値です。  
\* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

保健所	感染症発生動向調査週情報										報告患者数										保健所別										平成28年3月14日～平成28年3月20日									
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 # 3	クラミジア肺炎 # 3	感染性胃腸炎(口ウイルス)	インフルエンザ(入院)																			
全	4602	11	45	503	836	95	4	52	65	-	3	157	1	25	-	-	-	4	-	-	6																			
川	1841	0.07	0.28	3.18	5.29	0.60	0.03	0.33	0.41	-	0.02	0.99	0.03	0.63	-	-	-	0.40	-	-	0.60																			
朝	405	3	10	83	107	8	-	4	13	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	376	-	10	44	84	3	1	2	5	-	-	9	-	5	-	-	-	-	-	-	-																			
鴻	1790	-	0.77	3.38	6.46	0.23	0.08	0.15	0.38	-	-	0.69	-	1.67	-	-	-	-	-	-	-																			
鴻	364	1	1	31	85	11	2	5	5	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
東	1916	0.08	0.08	2.58	7.08	0.92	0.17	0.42	0.42	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
東	130	-	-	16	36	-	-	8	4	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-																			
山	1625	-	-	3.20	7.20	-	-	1.60	0.80	-	-	1.00	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-																			
秩	29	-	-	4	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
秩	580	-	-	1.33	1.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
本	105	-	-	16	12	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
本	1500	-	-	4.00	3.00	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
熊	276	-	1	40	73	-	-	4	3	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-																			
熊	1971	-	0.11	4.44	8.11	-	-	0.44	0.33	-	-	0.44	-	1.50	-	-	-	-	-	-	-																			
加	211	2	-	6	4	20	-	4	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
加	2110	0.33	-	1.00	0.67	3.33	-	0.67	0.17	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
春	132	-	2	4	16	2	-	1	1	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
春	1320	-	0.33	0.67	2.67	0.33	-	0.17	0.17	-	-	3.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
幸	334	-	2	11	30	8	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	1	-	-	-																			
幸	2386	-	0.22	1.22	3.33	0.89	-	-	-	-	-	2.67	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-																			
坂	143	-	4	8	17	8	-	2	1	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
坂	1430	-	0.67	1.33	2.83	1.33	-	0.33	0.17	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
草	439	2	2	58	47	6	-	2	3	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
草	2582	0.18	0.18	5.27	4.27	0.55	-	0.18	0.27	-	-	0.91	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
狭	494	-	6	50	66	7	1	10	6	-	-	19	1	1	-	-	-	2	-	-	-																			
狭	1976	-	0.38	3.13	4.13	0.44	0.06	0.63	0.38	-	-	1.19	0.20	0.20	-	-	-	2.00	-	-	-																			
川	263	-	-	34	34	2	-	3	2	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-																			
川	1946	-	-	4.25	4.25	0.25	-	0.38	0.25	-	-	0.13	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-																			
越	266	2	3	14	17	4	-	1	6	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-																			
越	2046	0.25	0.38	1.75	2.13	0.50	-	0.13	0.75	-	-	0.38	0.38	-	-	-	-	1.00	-	-	-																			
さい	645	1	4	84	204	13	-	4	15	-	-	36	-	12	-	-	-	-	-	-	-																			
さい	1573	0.04	0.15	3.11	7.56	0.48	-	0.15	0.56	-	-	1.33	-	1.50	-	-	-	-	-	-	-																			

( - : 0.00 ) # 1 インフルエンザを除く # 2 真菌性を含む # 3 オウム病を除く 3月 22日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第11週 平成28年3月14日～平成28年3月20日)

	合計																					
	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～		
インフルエンザ #1	4,602	7	45	128	159	193	309	388	435	447	328	301	796	164	137	248	244	115	108	29	21	
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～		
RSウイルス感染症	11	3	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	45	-	1	4	6	5	9	4	5	4	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	503	-	-	13	18	32	79	72	51	52	64	39	57	1	25	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎	836	8	37	82	73	73	94	89	68	46	41	32	90	12	91	-	-	-	-	-	-	
水痘	95	-	1	7	4	3	17	22	15	10	3	7	6	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病	4	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	52	-	-	2	2	2	8	10	5	9	4	2	8	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん	65	2	23	30	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	3	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	157	-	-	4	6	11	25	23	21	21	17	15	11	-	3	-	-	-	-	-	-	
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～		
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	25	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	8	5	1	4	4	4	4	
合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～						
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	4	-	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(入院)インフルエンザ	6	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	

表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報 第 9 週

( 2月29日～3月6日 )

平成28年3月23日

インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は愛知県(57.36)、愛媛県(56.87)、鹿児島県(51.55)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,216例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(74例)、1～9歳(446例)、10代(69例)、20代(12例)、30代(26例)、40代(42例)、50代(41例)、60代(123例)、70代(163例)、80歳以上(220例)であった。

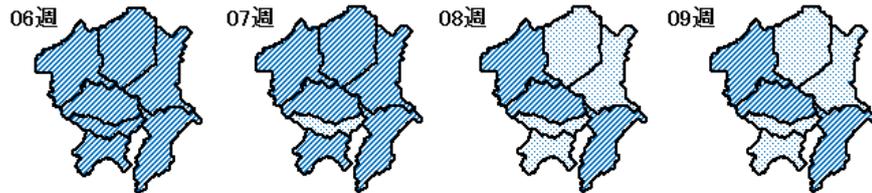
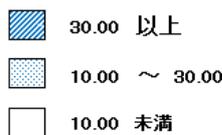
RSウイルス感染症の報告数は980例と第2週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第4週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は島根県(1.00)、鳥取県(0.89)、徳島県(0.78)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第6週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山形県(6.83)、鳥取県(5.95)、北海道(5.65)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は島根県(15.39)、大分県(14.28)、熊本県(13.10)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は富山県(0.93)、滋賀県(0.81)、沖縄県(0.76)である。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は千葉県(0.20)、富山県(0.14)、島根県(0.13)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山形県(2.13)、秋田県(2.06)、熊本県(1.42)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(2.56)、佐賀県(2.43)、石川県(1.93)、鹿児島県(1.93)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は石川県(2.60)、静岡県(1.40)、大阪府(1.12)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で増加した。38都道府県から269例報告があり、年齢別では0歳(33例)、1～4歳(173例)、5～9歳(53例)、10代(4例)、20代(1例)、30代(2例)、40代(1例)、50代(1例)、70歳以上(1例)であった。

## <関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、埼玉県(34.24)、千葉県(33.62)、群馬県(31.80)からの報告が多い。

### インフルエンザ



平成28年 09週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	174,970	41,729	3,035	1,770	3,021	8,593	7,128	9,499	8,683
	定点当たり	35.35	27.67	25.29	23.29	31.80	34.24	33.62	22.89	25.61
RSウイルス感染症	報告数	980	93	5	5	6	14	6	33	24
	定点当たり	0.31	0.10	0.07	0.10	0.10	0.09	0.04	0.13	0.11
咽頭結膜熱	報告数	938	160	13	5	16	37	15	43	31
	定点当たり	0.30	0.17	0.17	0.10	0.28	0.23	0.11	0.17	0.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	9,435	2,616	146	100	166	522	508	740	434
	定点当たり	2.99	2.77	1.95	2.08	2.86	3.30	3.79	2.85	2.06
感染性胃腸炎	報告数	20,470	5,727	442	150	275	885	810	1,821	1,344
	定点当たり	6.49	6.07	5.89	3.13	4.74	5.60	6.04	7.00	6.37
水痘	報告数	1,090	387	15	23	14	82	83	98	72
	定点当たり	0.35	0.41	0.20	0.48	0.24	0.52	0.62	0.38	0.34
手足口病	報告数	93	38	3	-	-	3	27	2	3
	定点当たり	0.03	0.04	0.04	-	-	0.02	0.20	0.01	0.01
伝染性紅斑	報告数	1,554	321	29	30	27	41	73	80	41
	定点当たり	0.49	0.34	0.39	0.63	0.47	0.26	0.54	0.31	0.19
突発性発しん	報告数	1,089	334	13	15	19	61	44	105	77
	定点当たり	0.35	0.35	0.17	0.31	0.33	0.39	0.33	0.40	0.36
百日咳	報告数	29	4	-	-	-	1	2	1	-
	定点当たり	0.01	0.00	-	-	0.02	-	0.01	0.00	-
ヘルパンギーナ	報告数	45	27	-	1	-	1	15	9	1
	定点当たり	0.01	0.03	-	0.02	-	0.01	0.11	0.03	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2,482	665	47	39	9	167	166	121	116
	定点当たり	0.79	0.70	0.63	0.81	0.16	1.06	1.24	0.47	0.55
急性出血性結膜炎	報告数	6	2	-	-	-	-	1	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	0.03	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	374	100	19	3	3	15	12	7	41
	定点当たり	0.55	0.50	1.12	0.25	0.21	0.37	0.38	0.18	0.89
細菌性髄膜炎 #2	報告数	11	2	-	-	1	-	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	0.13	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	18	8	-	1	-	-	3	2	2
	定点当たり	0.04	0.10	-	0.14	-	-	0.33	0.08	0.22
マイコプラズマ肺炎	報告数	208	31	5	4	5	4	5	6	2
	定点当たり	0.44	0.38	0.38	0.57	0.63	0.40	0.56	0.24	0.22
クラミジア肺炎 #3	報告数	13	3	-	-	-	-	-	3	-
	定点当たり	0.03	0.04	-	-	-	-	-	0.12	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	269	13	-	3	5	1	1	2	1
	定点当たり	0.57	0.16	-	0.43	0.63	0.10	0.11	0.08	0.11

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査 2016年

- [感染症の流行状況 2016年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第10週](#)

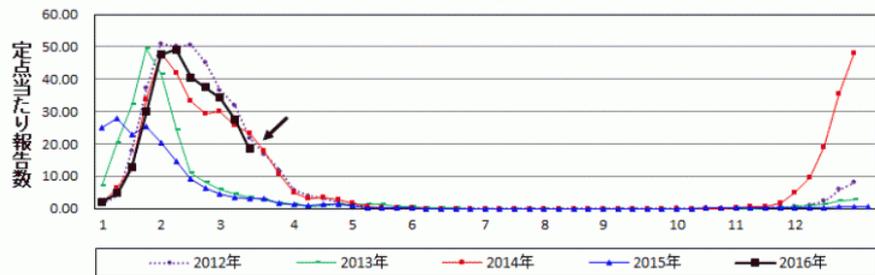
感染症の流行状況 2016年 第11週

2016年第11週（平成28年3月14日～3月20日）の要点 平成28年3月23日

インフルエンザの定点当たり報告数は、第7週以降減少していますが、今しばらくは注意が必要です。外出後の手洗い・うがいととも、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↓	★★★	<a href="#">伝染性紅斑</a>	→	★★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱</a>	↑	★	<a href="#">百日咳</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↓	★★★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↓	★★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">手足口病</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。 \*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン